

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川越西高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が示されている学校像である。学校に寄せられる期待に十分応え、学校の特色や強みを更に生かしたものとなるようにして、学校一丸となって取り組むことのできるものとしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。学校の置かれた状況などを把握した上で、中期的視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・学年等のシートが新たに作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。評価項目が年度達成目標としては分かりにくいので、明確かつ重点化された目標となるように工夫し、分掌・学年等との連携を図りながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	次年度の方策と評価指標を設定するに当たり、年度末に取組の総括を行うなど教職員間の共通理解が図られている。前年同様の目標や方策が設定されていることから、局所最適による改善を進めるために新たな視点で評価項目・方策を策定するとともに、教職員間でその達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見やアンケート結果を教職員に示し、達成状況や課題の共通理解を図っている。達成状況の課題の検討、取組の改善・更新が十分でないので、達成状況の検証・分析などを行うため、アンケート結果の詳細な分析を行って、そこから課題を析出するなど改善のスパイラルアップを進めていただきたい。	
特記事項			